

きょうさいだより

Sasebo Kyosai Hospital Communication Paper



させぼおくんち 「蛇踊り」 撮影：相良 利博 氏

NDEX

- ごあいさつ 院長 木寺 義郎 ①
- 「健康みらい予報」について
- 第10回市民公開講座 「生活習慣病と血管の病気について」..... ②
- 新採用医師の紹介
- 診療活動の現況 肝臓外科 ③
- 趣味を語る「ボウリング部の紹介」..... ⑤
- 新しい「骨密度測定装置」が導入されました
- 地域医療連携室より..... ⑥
- トピックス 急患室がリニューアルされます
- 編集後記
- 外来診療担当表..... ⑦

ごあいさつ

院長 木寺 義郎



当院は松浦鉄道（MR）の佐世保中央駅が指呼の間にあり、交通アクセスには恵まれた環境にあります。佐世保中央駅が開業したのが平成2年であり、ちょうど20年になります。平成5年には地元の人達の熱意で当院と佐世保中央駅、四ヶ町商店街を結ぶ連絡通路が完成し、当院から「雨に濡れない」で、佐世保中央駅まで往復できるようになりました。

ところで「地域完結型の医療」という言葉が、最近聞かれるようになりました。個々の医療機関の機能は完備されていなくても、それぞれの機関の機能を結集して地域のなかで医療を完結しようというものです。

長崎県でも高齢化や過疎化に伴い医療資源の偏在化が生じているために、県北の医療を考える場合には医療機能の充実した佐世保地域を含めながら、「地域完結型の医療」を構築しようという流れになってきました。このような状況に地域社会が順応できるためには交通アクセスに恵まれた環境が大切であり、松浦鉄道の役割もこれまで以上に大きくなるものと思います。

北松炭田の石炭輸送のために敷設されて、佐世保軽便鉄道と呼ばれた時代から90年の歴史を刻んできた松浦鉄道が、これからも地域の人々の生活路線として発展していくことが期待されます。



佐世保中央駅を出発し国道を横切るMR列車

「健康みらい予報」について

健診センター医長 原 敬一



健診センターでは、今年始めより「二日ドック」受診者を対象に「健康みらい予報」の運用を行っています。

これは、野村総合研究所と久山生活習慣病研究所との共同により開発された生活習慣病の発症予報システムです。

福岡市の東部にある久山町では、九州大学と久山生活習慣病研究所との共同で「久山町研究」として世界的に知られる疫学研究が行われています。膨大な住民の生活習慣病に関連する医学データが蓄積され、解析・研究が進められています。この「久山町研究」の医学データを用いて「健康みらい予報」が開発されました。

当健診センターの「二日ドック」受診者を対象に「健康みらい予報」を用いて、生活習慣や検査データをもとに糖尿病及び心筋梗塞や脳梗塞などの10年後の発症リスクを算出しています。また、生活習慣の改善でその発症リスクがどれくらい軽減できるかも算出しています。これにより、生活上どういう点に注意すればよいのかの目安を提供することができます。

この「健康みらい予報」が生活習慣病改善の一助となれば幸いです。

第10回市民公開講座報告 —生活習慣病と血管の病気について— 循環器科部長 金谷誠司

平成22年8月7日 第10回佐世保共済病院市民公開講座が、当院8階大講堂で開催されました。当日は猛暑にもかかわらず、例年同様多くの市民の皆さん、開業医の先生方にご来場いただきました。

今年のテーマは『生活習慣病と血管の病気について』でした。私 金谷が、心臓病の検査と治療についてお話し、血管外科の坂下医長からは動脈瘤・閉塞性動脈硬化症の症状から検査・治療についての講演がありました。

特別講演は、久留米大学心臓・血管内科の今泉勉教授に『生活習慣病：無症状で何故こわい』というタイトルでご講演頂き、一般市民の方にわかりやすくユーモアたっぷりに生活習慣病が何故こわいのか、そして食事療法・運動療法の実際など治療と予防、自己管理の仕方について解説して頂きました。

今回のテーマも我々の身近に存在する病気であるため、特にステントグラフトに関して多くの方から質問や相談を受けました。

今後も少しでも市民の皆さんのお役に立てるよう努めて行きたいと思えます。

1. 心臓病治療最前線

～検査から治療まで全部見せます～

講師：佐世保共済病院 循環器科 金谷 誠司 部長

2. 動脈硬化と血管の病気について

～動脈瘤・閉塞性動脈硬化症～

講師：佐世保共済病院 血管外科 坂下 英樹 医長

特別講演

生活習慣病：無症状で何故こわい

講師：久留米大学医学部 心臓・血管内科部門

今泉 勉 主任教授

座長：みぞぐち循環器内科 院長 溝口 敬一郎 先生



山田診療部長 溝口先生 萩原副院長 井原部長
金谷部長 今泉主任教授 木寺院長 坂下医長

新採用医師の紹介

泌尿器科医長

なかむら たかお
中村 貴生



略歴

- 出身大学・卒年
長崎大学・平成8年卒業
- 在籍医局 長崎大学泌尿器科学教室
- 主な職歴 平成9年 国立長崎中央病院
平成18年 佐世保共済病院
平成20年 長崎医療センター
- 所属学会 日本泌尿器科学会、日本透析学会

6月より、2年ぶりに戻って来ました。以前に比べ幾つかの診療科で常勤医が少なくなりマンパワーに限りがあることを感じる今日このごろです。厳しい環境ではありますが良質な医療を提供したいと日々努力していますので宜しくお願いいたします。

放射線科医員

こざさ しんすけ
小佐々 信介



略歴

- 出身大学・卒年
川崎医科大学・平成19年
- 在籍医局
久留米大学放射線科
- 専門領域
放射線科 画像診断
- 出身地 福岡県

●趣味・その他一言
読書、スポーツ…何でも誘ってください。
よろしくお願いします。

診療活動の現況 ～肝疾患の現状と今後の治療とその展望～



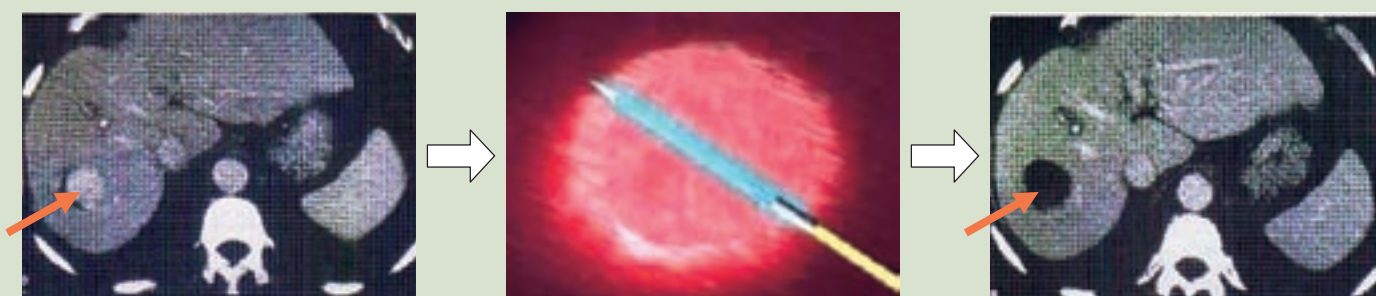
【はじめに】

肝臓は沈黙の臓器といわれ、症状が出現することなく病状が進んでいる事がすくなくありません。肝臓の腫瘍は慢性的な肝疾患を有する方や消化器癌術後の方などが、経過観察を続けているうちに画像検査で発見される場合が多い傾向があります。最新の超音波検査・CT・MRIの普及や造影剤の改良によって微小病変で発見される機会が増加してきていますが、日常診療においてはかなり進行した状態で診断されるケースも少なくありません。今回当院における肝腫瘍患者の現状と治療方針についてご紹介します。

【当院の治療方針】

当院で治療している患者さんは年間約 50 例程度で、内訳は 8～9 割が原発性肝癌で多くの方が肝炎ウイルスを有しております。背景に慢性肝炎や肝硬変がある為に手術に関して一定の制限を受ける事があります。治療方針としては肝予備能の良好な方であれば肝臓の葉切除や区域切除、肝予備能不良の場合は肝部分切除、腫瘍が 3 個以内で最大腫瘍径が 3 cm 以内であれば肝腫瘍焼灼術（ラジオ波・マイクロ波）、と適応に応じて手術を行っています。多発症例に関しては血管造影手技を用いた肝動脈塞栓術や持続肝動注療法による治療を行っております。また最近の話題としては、肝細胞癌に限定ではありますが分子標的剤である「ネクサバル」内服による治療も行っております。

肝腫瘍焼灼術（ラジオ波焼灼療法）



治療前の肝癌（➡） ラジオ波で腫瘍を焼灼している様子（イメージ図） 治療後（➡）

【原発性肝癌の治療成績】

原発性肝癌の手術治療成績は 3 年生存で約 50%、5 年生存で約 30%、10 年生存も少数例あります。再発に関しては、術後 2 年で約 50%、5 年では約 80% を認めます。おおむね肝臓内の再発が多発例が多く、肝予備能に応じて先に述べた治療を組み合わせることで対応しております。肝予備能良好な症例は治療機会を失わず、早期に完全治癒に近い状態に導く事が生存率を高める上で大切だと思われま

【今後、増加が予想される転移性肝癌について】

本邦に多い肝炎ウイルス由来の肝疾患は現在発生頻度が激減しており、それに続発する肝細胞癌患者も2015年をピークに減少すると予想されています。それに伴い今後治療対象となる疾患も原発性肝癌から転移性肝癌へ大きくシフトしていくと思われれます。特に大腸癌原発の転移性肝癌は21世紀に入り新しい抗癌剤（オキサリプラチン）や分子標的剤（ベバスチマブ・セツキシマブ・パニツムマブなど）の登場で飛躍的に治療効果が高くなってきております。遠隔臓器転移が肝臓のみの場合、手術対象となる症例や切除により完全治癒状態になる事も多くなってきております。

当科でも転移性肝癌に対しては基本的に肝切除で治療を行っております。

【今後の展望】

肝臓腫瘍に関する診療においては、原発・転移を問わず多数回手術になる事が少なくありません。患者さんにはその機会ごとに負担を強いる事になっており、場合によってはかなり長期間の入院をきたす事もあります。今後の展望としては、より低侵襲な手術や手術部位を最小限にする手術を目指したいと考えております。現在放射線科に協力していただき、腫瘍と血管や胆管との関係を理解するためにワークステーションによる3次元画像を作製して積極的に活用しております。これをいっそう発展させ腹腔鏡や腹腔鏡補助下手術による治療の適応拡大やより安全な系統的肝切除を御提供出来るよう努力していきたいと考えております。

肝臓癌の治療

● 切除療法

もっとも確実な方法。

背景に慢性肝炎や肝硬変があるため手術に際して制限有り

● 肝腫瘍焼灼術

- ・マイクロウェーブ壊死凝固療法
腫瘍に針を刺しマイクロ波（電子レンジと同じ原理）で腫瘍を壊死させる。
凝固範囲は狭く治療場所に制限がある。

・ ラジオ波焼灼療法

ラジオ波（約80-100度）で熱焼灼する方法。
焼灼範囲が広く（直径3cm）確実性が高く、肝予備能に負担が少ない。

● 経皮経肝アルコール注入療法（PEIT）

エタノールを注入して凝固させる方法。

● 肝動脈塞栓術

肝癌を栄養する肝動脈を閉塞させる治療。

動脈を閉塞させる物質に抗癌剤を混和する方法あり。

● 肝動脈内動注化学療法

肝全体に広がった癌、多発癌に適応。肝動脈から抗癌剤を注入。

当院の肝癌治療の変遷（3年間）

（件）

	平成19年	平成20年	平成21年
肝切除術	8	13	7
肝腫瘍焼灼術	45	35	24
肝内エタノール治療	1	1	0
肝動脈塞栓術	9	6	8
化学療法	17	14	9

趣味を語る —ボウリング部の紹介— 産婦人科看護師 中尾 陽子

岡 尚記先生を部長とするボウリング部は、平成 17 年に開催された西日本ブロック体育大会に参加したメンバーが本番に弱く力も発揮できなかった悔しさから発足しました。週 1 回の練習日をもうけてラッキーボウルのボウリング教室に参加し、立ち位置やフォームなどを指導して頂いて徐々にスコアも伸びてきた様に思います。

3ヶ月を1クールとする部員総当りのリーグ戦を共済リーグと称し、8月から5回目が始まりました。誰もがハイスコア目指し今回こそは優勝をと白熱したゲームを展開中です。岡部長や井関先生などはラッキーボウルが主催するチャレンジマッチやラッキーボウルカップに参加しておられて、地域の方々との交流を深めながらレベルを高めて、入賞を目標としているようです。ボウリングは、誰でも気軽に楽しめるスポーツです。一緒にいい汗かきませんか。



←投球中の岡部長

↓リーグ戦中の部員の皆さん



新しい「骨密度測定装置」が導入されました 副院長 萩原 博嗣

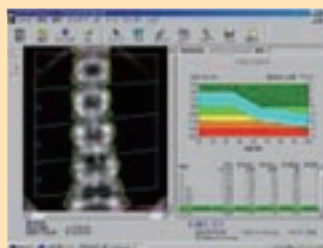
骨密度測定は「骨粗鬆症」を予防、治療するために欠かせない検査です。当院では従来、腰椎を対象に測定を行っておりましたが装置が老朽化し、時間が30分程度かかるようになっていました。このたび新しく導入した装置は腰椎のみでなく、より骨折の危険性の予測に役立つ大腿骨頸部の骨密度も同時に測定することが可能で、時間もわずか5分で終了します。放射線被曝も胸部撮影の10分の1と少なく安心して効率よく検査を受けられるようになりました。

「骨粗鬆症」は閉経後や高齢者に多く見られて、脆弱性骨折を起こしやすくなる病気ですが、正しく診断して内服治療などを行うことによって骨折の4割程度は防止できるとされております。気になる方には検査をおすすめします。

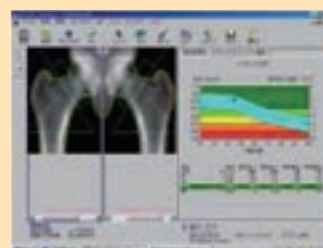
申し込みは各科外来で随時行うことができ、費用は、3割負担の場合で2,000円程度です。



最新型骨密度測定装置（GE社製）



腰椎の骨密度



大腿骨頸部の骨密度

地域医療
連携室より

Part.
10



産科・婦人科 東島レディースクリニック

〒857-0841 佐世保市大宮町17-13

TEL 0956-31-5758

院長 東島 博 先生

副院長 東島 嘉親 先生

父、東島嘉親は大正14年生まれの現在85歳、毎日元気に診療（主に子宮癌検診、更年期障害、新生児検診）をしております。山口医専（現、山口大学医学部）を卒業し佐世保共済病院には昭和30年～40年頃に産婦人科医師として清水、加藤、鶴原、藤下、川下先生方と一緒に勤務しておりましたが、その後昭和40年現在の大宮町に開業いたしました。しかし平成元年に心筋梗塞を患い入院。平成二年に私、博が帰佐し奇跡的に回復した嘉親と二人診療し今日に至ります。

平成5年に新築した頃からは月約40例の分娩にスタッフ30名で当たっております。ここまで開業医としてやってこれたのも共済病院の連携のおかげだと感謝しております。

楠田元院長、木寺現院長、鶴地先生や他の先生方に大変お世話になっており、心より御礼申

し上げます。さて私が危惧いたしますに県北は産婦人科の医師が半分以下に減っており、平戸市、西海市には産婦人科開業医師がいないという現状です。佐世保市の産婦人科開業医に出来る力も限界に来ております。必然的に共済病院には産科婦人科関係の患者さんの受け入れをさらにお願ひしなければなりません。今後も良い病診連携を保ちつつ地域の医療に携っていきたいと思います。今後とも宜しくお願ひいたします。



博院長（右）、嘉親副院長（中央）とスタッフの皆さん

トピックス 急患室がリニューアルされます 管財課長 三溝 典明

新しい急患室は今年度完成予定で一般診察室が3室・処置室が2室、また、廊下を挟んで感染対策用として別に診察室を3室設置します。この診察室は昨年流行した新型インフルエンザ等への対策を含めて計画されており、部屋が陰圧になるように設計されています。今後ますます救急医療に力を入れていく当院にとっては完成の待たれる施設整備工事ですので、工事期間中の仮施設利用を含めて御協力をよろしくお願ひします。

編集後記

市民公開講座も「きょうさいだより」も今年で10年目、どちらも先代の故福井院長の発案で始まったものであることに改めて気付きました。来年当院は創立100周年を迎えます。これからも皆様に愛読されるような紙面づくりを目指してまいります。

編集委員 森木 達彦

佐世保共済病院 外来診療担当表

平成 22 年 10 月 1 日現在

科	役職	医師名	月		火		水		木		金		備考(専門分野・特徴など)
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
内科	部長	原口 総一郎	●						●				腎臓疾患・人工腎臓
	〃	金谷 誠司					●		●				循環器疾患
	部長代行	田中 實	●						▲		●		総合診療科・糖尿病・消化器内科 ▲：消化器センター診察日
	医長	樋口 泰雄	●		●				●				内科・神経内科・漢方・禁煙外来
	医員	金谷 晶子			●		●				●		腎臓疾患・一般内科
	〃	大塚 伸			●		●						腎臓疾患
	〃	斧沢 幸司	●						●		●		腎臓疾患
	非常勤医	田淵くみ子			●								循環器疾患
	〃	横山 晋二					●						循環器疾患
	〃	溝口 祐輔									●		呼吸器疾患
	〃	大野 聡子									●		循環器疾患
〃	横山 哲也					●						呼吸器疾患	
〃	原口 剛	●		●								循環器疾患	
消化器センター			●		●		●		●		●		(診療内容) 上部・下部消化管、肝・胆・膵疾患の検査及び治療 (検査内容) 胃カメラ、大腸ファイバー、ERCP、PTCD 等
		井原			富崎		橋本		田中		井原		
外科	外科顧問	松永 章							●				消化器外科・内視鏡下外科・一般外科
	主任部長	井原 司					●		●				消化器外科・肝胆膵外科・内視鏡下外科・一般外科
	副部長	橋本 光生			●						●		消化器外科・一般外科
	部長	原田 洋			●						●		消化器外科・乳腺外科・一般外科
	〃	富崎 真一	●				●						消化器外科・内視鏡下外科・一般外科
	医長	坂下 英樹	●				●						血管外科・一般外科
	医員	石橋 慶章	●						●				消化器外科・一般外科
	〃	坂田 省三			●				●				呼吸器外科・一般外科
	非常勤医	光岡 正浩									●		呼吸器外科 (第1・3・5週のみ)
	〃	川畑 方博			●								肝胆膵外科・消化器外科・一般外科
〃	武田 雄二									●		呼吸器外科 (第2・4週のみ)	
乳腺外来			●		●		●		●		●		※乳痛検診は、10時までに受付を行って下さい。(要予約)
		橋本			坂下		原田・坂田		原田		石橋		
小児科	部長	岡 尚記	●		●		●		●		●		小児一般、小児アレルギー疾患、気管支喘息
	乳児健診				●								火曜 午後1時から診察開始
	慢性外来						●						水曜 午後2時から診察開始
	喘息外来								●				木曜 午後2時から診察開始
脳神経外科	部長	川口 務	●		▲		●		●		●		脳神経外科 ▲は10時30分までに受付を行って下さい。
	頭痛外来(完全予約制)			●	●			●					月曜、水曜：午後2時30分～午後4時30分 火曜：午前11時～午後0時30分
整形外科	副院長	萩原 博嗣	●								●		膝・股関節疾患、人工関節置換術、骨折、スポーツ障害、小児整形外科
	部長	久我 尚之			●		●		●				脊椎外科、腰痛、骨・軟部腫瘍、骨折
	医長	花田麻須大	●						●		●		手の外科、マイクロサージェリー
	医員	水城 安尋			●		●				●		肩関節疾患、肩関節鏡視下手術、足部疾患
	〃	志田 義輝	●				●		●				整形外科一般
	〃	烏山 和之	●		●						●		整形外科一般
皮膚科	医長	大津 正和	●	●	●		●		●	●	●		アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎、足白癬、帯状疱疹、皮膚腫瘍
	医員	多良 明子	●	●	●		●		●	●	●		男性型脱毛、陥入爪、ピアス、皮膚腫瘍手術(火・水・金の午後)
泌尿器科	診療部長	山田 潤	●								●		尿路結石、尿路生殖器腫瘍、排尿障害、尿路感染
	部長	江口 二朗	※		●				●		●		男性不妊(江口部長) ▲の診察は10時30分からです
	医長	中村 貴生	※		●		●		▲				※：第2・4週(江口部長) 第1・3・5週(中村医員)が診察を行います
産婦人科	院長	木寺 義郎	●						●				産科・周産期医療、不妊症・内分泌疾患
	部長	鶴地 伸宏	●		■		●		●				腹腔鏡下手術、更年期・婦人科疾患
	〃	木下 秀一郎			●		●		■		●		●：婦人科診療日 ■：産科診療日
	医員	佐藤 麻衣	●		●				●		■		▲は病棟回診後に診察開始のため遅れます
眼科	〃	田中 章子	●■		▲		●■				●		
	医長	原 潤	●		●		※		●		●		白内障手術、緑内障手術、硝子体手術、網膜剥離手術、眼瞼下垂手術、翼状片手術、レーザー光凝固術、光線力学療法、眼瞼痙攣のボツリヌス注射など
医員	岡村 寛能	●		●		※		※		●		●	※：火・水曜の午後は術前検査と特殊再来(要連絡)
耳鼻咽喉科	医長	門田 英輝	●		●		●		●		●		アレルギー性鼻炎のレーザー治療・小児の耳鼻咽喉科疾患
	医員	垣内 康徳	●	●	●		●		●		●		耳・鼻・咽喉頭・頸部などの手術
放射線科	部長	野々下政昭	※検査・画像診断についてのお申し込み・お問合せは、外来までお電話下さい。									MRI、CT、RI、血管造影、超音波検査	
	医員	江畑 智広											
	〃	小佐々信介											
麻酔科	部長	深野 拓	●				●		●		●		月～金午前ペイン・緩和ケア外来
	医長	吉村 真紀	●		●				●				月～金午後は手術麻酔
	医員	木本 文子			●		●				●		*木本医員は10月中旬まで休診予定です
	非常勤医	別府 幸岐											
歯科 口腔外科	医長	川村 英司	●	●	●	●	●	●	●		●	●	歯科・口腔外科(紹介患者のみ新患受付)
	医員	角町 鎮男	●	●	●	●	●	●	●		●	●	顎変形症(外科的矯正)・インプラント・歯牙移植・顎関節症・マウスピースなど
健診センター	医長	原 敬一										※お申し込み・お問い合わせは、健診センターまでお電話下さい。	